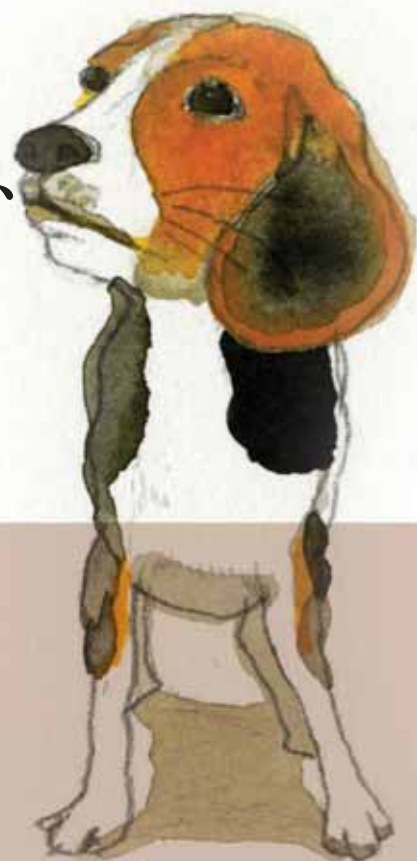




生きとし生けるものは、
すべて〈突如、彗星の如く〉
あらわれて消えて行く。
いったい、どこからあらわれて、
どこへ消えて行くのであろう。



1992年 角川書店

Story

小学校6年生になる城田恭太の家は、祖父・福造、父・晋太郎、母・敦子、兄・幸一、姉・真由美、紀代美、晋太郎の妹であるめぐみとその4人の子どもたち、そして自分を犬だとは思っていない、愛犬フックを加えた12人と1匹の大家族である。そんな城田家に、ハンガリーからポラーニ・ポラージュという名の留学生がやってきた。この物語は、ポラージュの来日から帰国までの3年間、さまざまな事件を乗り越えつつ、絆を強めていく家族の成長の物語である。

ドラマ『カミング・ホーム』

TBS 金曜21:00枠
放送期間:1994年7月8日~9月23日

(全12話)

原作
宮本輝
脚本
江連卓
プロデュース
春日千春
監督
岡本弘、寺山彰男
制作
TBS、大映テレビ

主なキャスト
城田真由美 常盤貴子
城田紀代美 櫻井淳子
城田敦子 藤田弓子
城田福造 丹波哲郎
城田晋太郎 梅宮辰夫

ドラマは原作とは違い、長女・真由美が主人公で、これを常盤貴子が好演する。大映テレビドラマの中では珍しい、家族と家族を見つける本格的ホームドラマで、視聴者が選んだ大映テレビドラマのリクエスト10位作品。1994年のTBS金曜21:00枠のドラマは、この他に「もしも願いがかなうなら」「アリよさらば」「夢見る頃を過ぎても」である。

家族の一人ひとりか
とにかく濃いです!

物語の序盤からすでに自分も城田家の一員であるかのように引込まれます。それと同時に、自分にも家族がいることのありがたみや、それかどいだけいとおしい存在であるかを感じさせてくれる作品です。

家族って何!?
と立ち止まったときに、
おすすめの一冊です。

Review